

(様式第 1 号)

平成 30 年 10 月 30 日

認定介護福祉士認証・認定機構

理事長 大島 伸一 様

領 域 名 : マネジメントに関する領域

科 目 名 : 介護サービスの特性と求められるリーダーシップ、人的資源の管理

単 位 数 : 1 単位

認証申請する研修の名称 : 認定介護福祉士養成研修

団体名 : 一般社団法人三重県介護福祉士会

団体事務所の所在地 : 〒 514-0004

三重県津市栄町 3 丁目 243 関権第 3 ビル 602 号室

電話 : 059-264-7741

FAX : 059-264-7742

E-mail : mie_kaifuku@ybb.ne.jp

下記書類を添えて上記科目に対する研修の認証を申請します。

団体代表者 : (一社) 三重県介護福祉士会[®]

申請責任者 : 大田 京子

記

○認定介護福祉士研修認証申請書 (別紙 1 ~ 3)

<機構使用欄>

受付	
確認	
委員付託	
追加連絡	
評価報告	
理事会承認	
認証番号	

(別紙 1) 認定介護福祉士研修認証

※申請受付番号 _____

(※は記入しないでください)

認定介護福祉士研修認証申請書

申請年月日	平成 30 年 10 月 30 日
申請団体名	一般社団法人 三重県介護福祉士会
申請団体代表者氏名	会長 大田 京子
申請責任者職名 申請責任者氏名	認定介護福祉士養成研修担当 森 聖志
団体住所 同 Tel・Fax メールアドレス	〒514-0004 三重県津市栄町3丁目243 関権第3ビル602号室 Tel : (059)-(264)-(7741) Fax : (059)-(264)-(7742) E-mail:mie_kaifuku@ybb.ne.jp
申請対象の領域	領域名：マネジメントに関する領域
科目名 (単位数)	科目名：介護サービスの特性と求められるリーダーシップ、人的資源の管理 (1 単位)
申請する研修名	認定介護福祉士養成研修
研修認証実績	年 認証番号 ()
	年 認証番号 ()
	年 認証番号 ()
その他特記事項	

(別紙2) 認定介護福祉士研修認証

認証申請科目に対する研修の内容

申請対象の領域	マネジメントに関する領域	
科目名	介護サービスの特性と求められるリーダーシップ、人的資源の管理	
(1) 提供する研修について		
研修名	認定介護福祉士養成研修	
教育目的	<ul style="list-style-type: none"> ・介護サービスの特性を理解し、介護サービスのマネジメントについての考え方を獲得させるとともに、そのための手法や基本的な考え方について理解させる。 	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・介護サービスの特性について具体例をあげて説明できる。 ・介護サービスの特性を踏まえて、求められるマネジメントの方向性について、説明できる。 ・リーダーシップに関する理論のポイントを概説できるとともに、自分や他者のリーダーシップやタイプやあり方について理論を用いて考察できる。 ・モチベーションに関する理論のポイントを概説できるとともに、自分や他者のモチベーションの現状や向上策について理論を用いて考察できる。 ・キャリアに関する基礎的な理論や考え方を理解し、他者に説明できる。 	
研修内容（研修プログラム）	含むべき内容	研修プログラム
	<p>○介護サービスの特性と求められるマネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護サービスの特性（サービスマネジメント論にもとづくサービス財の一般的特性、サービス評価の二面性、利用者の変容性、期待の不明確性、連続性）と特性に沿った提供のあり方 ・介護サービスと他サービスとの相違点の理解 	<p>●事前課題学習（4時間）</p> <p>○事前課題1（2時間）</p> <p>《ねらい》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護サービスの特性について知識部分を事前に学習させるとともに、介護サービスと他サービスの違いを考えさせる。知識面は研修当日に試験。 <p>《課題内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に配布する介護サービスの特性に関する資料（内容：サービスマネジメント論にもとづくサービス財の一般的特性、サービス評価の二面性、利用者の変容性、期待の不明確性、連続性、等：講師作成）サービスマネジメントシステムの5つの要素（マーケット・セグメンテーション、コンセプト、サービス・デリバリー・システム、イメージ、組織の理念と文化）に関する資料（講師作成）を読み、講師作成のワークシート（サービスマネジメントシステムの5つの要素で介護サービスと他サービスを比較記入するシート）に記入すること。

<p>○リーダーシップ、モチベーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モチベーション（職員のやる気）、リーダーシップに関する基礎的な理論 ・理論を用いた自分やメンバーのリーダーシップやモチベーションの分析 	<p>○事前課題 2（2時間）</p> <p>《ねらい》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーシップとモチベーションに関する理論について知識部分を事前に学習させるとともに、自身のリーダーシップの特性を省察させる。知識面は研修当日に試験。 <p>《課題内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に配布するリーダーシップ理論に関する資料（内容：行動理論（PM理論）、コンティンジェンシー理論（SL理論）、ミシガン研究、マネジリアル・グリッド論、ミッション型リーダーシップ、サーバントリーダーシップ、等：講師作成）とモチベーション理論に関する資料（内容：X理論・Y理論、2要因理論、内発的動機付け概念、目標設定理論、等：講師作成）を読み、講師作成のワークシート（PM理論のマトリクス）に、自分自身の職場におけるリーダーシップと自身以外（できれば上司や先輩）のリーダーシップの特性を記入すること。 <p>●〔当日研修〕（8時間）</p> <p>○〔講義〕 介護サービスの特性（1時間）</p> <p>《ねらい》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護サービスの特性と他サービスとの比較について事前課題を踏まえて学習し、介護サービス提供のあり方を学習する。 <p>《内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前課題①の理論部分（介護サービスの特性、サービスマネジメントシステム）を簡単にまとめて講義し、介護サービス提供のあり方を講義。 <p>○〔演習〕 介護サービスと他サービスとの相違点（1時間）</p> <p>《ねらい》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義と事前学習を踏まえ、介護サービスの特性を演習によって確認する。 <p>《内容》</p>
---	--

<p>○介護サービスの特性と求められるマネジメント※再掲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倫理・専門性を持つことの意義、リスクマネジメント、評価、コンプライアンスの重要性 <p>○リーダーシップ、モチベーション※再掲</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前課題①のワークシートをグループで共有し、サービスマネジメントシステムの5つの要素から介護サービスの特性を検討する。（全体発表含む） <p>○〔講義〕介護サービスの特性とマネジメント（1時間）</p> <p>《ねらい》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護サービスの特性を踏まえて、求められる専門性や倫理、マネジメント手法等について学習する。 <p>《内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームの目的と機能を実現するためのメンバー・リーダーとしての専門性と組織性。 ・介護サービスにおけるチームメンバー・リーダーとして倫理を持つことの意義。 ・介護サービスの質を保ち利用者満足度を高めるリスクマネジメント、評価、コンプライアンスの重要性。 <p>○〔講義〕リーダーシップとモチベーション（1時間）</p> <p>《ねらい》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーシップとモチベーションの理論について事前課題を踏まえて学習し、各理論のポイントが概説できるようになる。 <p>《内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前課題②の理論部分（リーダーシップ理論とモチベーション理論）を簡単にまとめて講義するとともに、リーダーシップとフォロワーシップ、組織運営における権限移譲、ボトムアップ型運営について講義。 ・職員の参画と成長を促す実践事例から学ぶ（事例による学習） <p>○〔演習〕リーダーシップやモチベーションの分析（1時間）</p> <p>《ねらい》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義と事前課題で学習した理論を踏まえて、リーダーシップやモチベーションについて分析できるようになる。
---	--

<p>○キャリアと経験学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアとは何か（様々な定義） ・初期、中期、成熟期の介護職員のキャリア課題について学ぶとともに、自分・部下・上司のキャリア意識（キャリアオリエンテーション、キャリアアンカー、仕事観）の把握の視点 ・キャリアの考え方の理解と内省：組織内のキャリアラダー（キャリアコーン）、専門職としてのキャリア、ハプスタンスアプローチ（planned happenstance 理論） ・経験学習理論と介護職における経験学習、成長経験 	<p>《内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前課題②のワークシートをグループで共有し、自身と他者のリーダーシップの特性について検討する。 ・次にマネジリアル・グリッド論を用いたワークシートにより検討する。（個人ワークの後グループワークを行い、全体化させる） <p>○〔講義〕キャリアと経験学習（1時間）</p> <p>《ねらい》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護サービスにおける人的資源管理の重要性、キャリア理論を学ぶとともに、職員が成長するために必要となる経験学習の考え方を学ぶ。 <p>《内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人的資源管理（HRM）（組織開発とジョブローテーション、学習組織等を含む）。 ・キャリアの定義。 ・キャリア意識や課題を把握するための視点（内的キャリアと外的キャリア、キャリア開発ステージ、キャリアアンカー）。 ・組織内のキャリアラダー（キャリアコーン）、専門職としてのキャリアの考え方、計画された偶発性理論（ハプスタンスアプローチ）。 ・経験学習の理論（経験、省察（内省）、概念化、実践）。省察の手法としてのKPT、More/Less。 ・介護職員の初期、中期、成熟期（初任者、中堅、リーダー、管理職）の各段階におけるキャリア課題の実際。 <p>○〔演習〕自身のキャリアアンカーを検討する（1時間）</p> <p>《ねらい》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身のキャリアアンカーを診断し、キャリアのあり方を考える。 <p>《内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアアンカーのワークシート（自己診断シート）による自己のキャリアに対する価値観と能力を探る。気
---	---

		<p>付きをグループでシェアし全体発表。</p> <p>○〔講義・演習〕学習のリフレクション（振り返り）（1時間）</p> <p>《ねらい》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修で学習した内容と自己の経験、現時点での力量、自職場での展開をリフレクションし、気付きと変容を促す。 <p>《内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修全体を振り返り、リフレクションを行い講師がコメントを行う。 ・介護サービスの特性とマネジメント、リーダーシップとモチベーション、キャリアと経験学習等についてポイントのまとめ。 ・事後課題に向けた講義 ・確認としての試験。 <p>●事後課題学習（3時間）</p> <p>○リフレクション課題（3時間）</p> <p>《ねらい》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経験学習の省察、概念化の手法を用いて介護チームのリーダーとしての自身のリーダーシップについて言語化させる。（経験学習の内容における演習部分に相当する課題） <p>《課題内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身の介護チームのリーダーとしてのリーダーシップについて、KPTとMore/Lessを用いて省察し、それを踏まえて他でも応用可能な概念として言語化を行い、2,000字程度でレポートさせる。
含むべきキーワード		<p>サービスマネジメント論、介護サービスの特性、リーダーシップの行動理論、リーダーシップのコンティンジェンシー理論、モチベーション、キャリア、キャリアアンカー、経験学習論</p>
研修方法	<p>■集合研修 ■課題学習</p>	<p>○集合研修講義と演習を組み合わせで行う。 ○演習はグループ演習とし、講師が巡回指導を行う。 ○評価は担当講師が行う。</p>
研修時間		<p>15時間（集合研修、課題学習一部可：7時間以内）</p>

修了要件	<p>○原則として全課程の出席を要する。やむ得ない事情による遅刻、早退については30分を上限として認める。30分を超える遅刻、早退の場合、別途課されるレポート課題により代替することを可能とする。</p> <p>○事後課題はA～Dの4段階評価とし、D評価の場合は再提出を求める。事後課題の提出が期限内に行われなかった場合、修了を認めない。</p> <p>○基礎理論については、知識チェック（テスト）を行う</p> <p>○テスト40点、リフレクションペーパーの内容30点、自己演習+演習・講義への参加貢献度30点</p> <p>○欠席の場合は修了を認めない。</p>
講師要件（講師の選定基準）	<ul style="list-style-type: none"> ・当該科目における十分な知識・専門性を有し、講師等の教育経験がある事。 ・修士課程を修了している事。 ・①介護福祉士で介護職員として10年以上の勤務歴を有する者 ②介護現場をフィールドとした組織行動論に関わる研究論文（筆頭者以外を含む）を執筆している者 ③その他、介護現場の実態についての理解が十分あり①②に準ずると認められる者が望ましい
(2)受講者について	
受講対象（受講要件）	<ul style="list-style-type: none"> ・「認定介護福祉士概論」を修了していること。 ・ユニットリーダー又はサービス提供責任者以上の職歴が3年以上の者が望ましい。
修了評価	<ul style="list-style-type: none"> ①出席状況が修了要件を満たしていること。 ②基礎理論については、知識チェック（テスト）を行う ③テスト40点、リフレクションペーパーの内容30点、自己演習+演習・講義への参加貢献度30点
(3)研修の環境条件	
定員（講師の配置基準）	15名（講師：1名）
開催場所（都道府県）	三重県介護福祉士会（三重県津市栄町3丁目243関権第3ビル2階研修室）

(別紙3) 認定介護福祉士研修認証

認証申請する研修の実施体制等 (届出事項)

(1) 研修の実施予定	
実施日	① 平成 32 年 1 月 25 日 (土)
	② 平成 年 月 日 ()
	③ 平成 年 月 日 ()
開催場所 (会場)	三重県介護福祉士会 研修室 (三重県津市)
(2) 講師	
担当、氏名及び略歴	氏名：丸山晃 資格：社会福祉士 学位：修士 (社会学) 現職：東洋大学福祉社会開発研究センター客員研究員、立教大学兼任講師、公益社団法人東京社会福祉士会理事、社会福祉法人にりん草理事 (人材育成担当業務執行理事)、他。 経歴：東洋大学大学院社会学研究科福祉社会システム専攻修了。障害者施設職員、大阪コミュニティワーカー専門学校、十文字学園女子大学、東洋大学専任教員等を経て現職。 研修歴：認定介護福祉士研修講師 (長野県：介護分野の人材育成と学習支援)、ファーストステップ研修講師 (長野、静岡、大阪、埼玉、三重、滋賀、他)、日本介護福祉士会リーダー研修講師 (講師養成特別研修)、介護教員講習会 (介護教育方法) ほか。 主業績：『臨床に必要な社会福祉援助技術演習』 (共著) 弘文堂、『障害をもつ人たちの権利』 (共著) 一橋出版、『つながり、支え合う福祉社会の仕組みづくり』 (共著) 中央法規、「認知症予防のための住民ボランティア育成と活用に関する調査研究事業報告」 (共著) 認知症介護研究研修東京センター、「ICT を活用した福祉領域の学外実習におけるリフレクション支援と評価」 (共著) 日本教育工学会論文誌 34 巻、「当事者活動とセルフ・アドボカシー」ソーシャルワーク研究 42 巻 3 号、他
	担当する講義等 介護サービスの特性と求められるリーダーシップ、人的資源の管理 修了評価 丸山晃 (東洋大学) 略歴等は同上
(3) 実施体制	
研修の企画運営の組織 (担当部局・人員)	認定介護福祉士養成研修実行委員会 (常勤：1 名、非常勤：4 名) 実行委員会事務局 (担当事務局員、介護福祉士会事務兼

	<p>務、常勤2名) 研修実行委員会において各科目の教育目的や到達目標を確 認し、担当講師と科目間の連や留意点について共有す る。またできる限り研修実行委員会の委員が研修に参 加・見学し、研修内容を評価するとともに、随時研修の 見直しを 図る。</p>
研修の企画運営に関する 諸規程	三重県介護福祉士会の定款、生涯研修委員会の諸規程に 準ずる。
研修管理責任者職名	
研修管理責任者氏名	会長 大田 京子
機構問合せ先部署	一般社団法人三重県介護福祉士会 事務局
機構問合せ先担当者氏名	森 聖志
機構問合せ先電話番号/FAX	059-264-7741 / 059-264-7742
機構問合せ先 e-mailアドレス	mie_kaifuku@ybb.ne.jp
受講問合せ先部署	一般社団法人三重県介護福祉士会 事務局
受講問合せ先担当者氏名	森 聖志
受講問合せ先電話番号/FAX	059-264-7741 / 059-264-7742
受講問合せ先 e-mailアドレス	mie_kaifuku@ybb.ne.jp
(4) 研修履歴の管理体制	
受講者への付与単位部門	三重県介護福祉士会事務局
受講履歴の管理方法	<ul style="list-style-type: none"> ○紙媒体及びデータによる台帳管理 ○データ保存期間は最低 10 年間とし、その後は、紙媒体 で保管する。 ○個人情報の取り扱いにおいては、法律を遵守する。
受講履歴の証明	各科目を修了した時点でその科目の修了証明書を発行 し、全課程を修了したのものには、全課程を修了した証明 書を発行する。
管理責任者氏名	大田京子 (会長)
管理担当者氏名	稲木千泰 (三重県介護福祉士会 事務局兼務)

別紙 1

認定介護福祉士養成研修時間割表

領域：マネジメントに関する領域

科目名：介護サービスの特性と求められるリーダーシップ、人的資源の管理

(1日目) 平成 32 年 1 月 25 日

区分	科目名	時間	内容
	受付	8:30~9:00	
1	○介護サービスの特性と求められるマネジメント ・介護サービスの特性（サービスマネジメント論にもとづくサービス財の一般的特性、サービス評価の二面性、利用者の変容性、期待の不明確性、連続性）と特性に沿った提供のあり方 ・介護サービスと他サービスとの相違点の理解	9:00~10:30	○〔講義〕 介護サービスの特性 ≪内容≫ ・事前課題①の理論部分（介護サービスの特性、サービスマネジメントシステム）を簡単にまとめて講義し、介護サービス提供のあり方を講義。 ○〔演習〕 介護サービスと他サービスとの相違点 ≪内容≫ ・事前課題①のワークシートをグループで共有し、サービスマネジメントシステムの5つの要素から介護サービスの特性を検討する。（全体発表含む）
	休憩	10:40~10:50	
2	○介護サービスの特性と求められるマネジメント※再掲 ・倫理・専門性を持つことの意義、リスクマネジメント、評価、コンプライアンスの重要性	10:50~12:10	○〔講義〕 介護サービスの特性とマネジメント ≪内容≫ ・チームの目的と機能を実現するためのメンバー・リーダーとしての専門性と組織性。 ・介護サービスにおけるチームメンバー・リーダーとして倫理を持つことの意義。 ・介護サービスの質を保ち利用者満足を高めるリスクマネジメント、評価、コンプライアンスの重要性。 ○〔講義〕 リーダーシップとモチベーション ≪内容≫ ・事前課題②の理論部分（リーダーシップ理論とモチベーション理論）を簡単にまとめて講義するとともに、リーダーシップとフォロワーシップ、組織運営における権限移譲、ボトムアップ型運営について講義。 ・職員の参画と成長を促す実践事例から学ぶ（事例による学習）
	休憩	12:10~13:10	
3	○リーダーシップ、モチベーション※再掲	13:10~14:40	○〔演習〕 リーダーシップやモチベーションの分析 ≪内容≫ ・事前課題②のワークシートをグループで共有し、自身と他者のリーダーシップの特性について検討する。

			・次にマネジリアル・グリッド論を用いたワークシートにより検討する。(個人ワークの後グループワークを行い、全体化させる)
	休憩	14:40~14:50	
4	<p>○キャリアと経験学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアとは何か(様々な定義) ・初期、中期、成熟期の介護職員のキャリア課題について学ぶとともに、自分・部下・上司のキャリア意識(キャリアオリエンテーション、キャリアアンカー、仕事観)の把握の視点 ・キャリアの考え方の理解と内省:組織内のキャリアラダー(キャリアコーン)、専門職としてのキャリア、ハプンスタンスアプローチ(planned happenstance理論) ・経験学習理論と介護職における経験学習、成長経験 	14:50~16:20	<p>○〔講義〕キャリアと経験学習</p> <p>≪内容≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人的資源管理(HRM)(組織開発とジョブローテーション、学習組織等を含む)。 ・キャリアの定義。 ・キャリア意識や課題を把握するための視点(内的キャリアと外的キャリア、キャリア開発ステージ、キャリアアンカー)。 ・組織内のキャリアラダー(キャリアコーン)、専門職としてのキャリアの考え方、計画された偶発性理論(ハプンスタンスアプローチ)。 ・経験学習の理論(経験、省察(内省)、概念化、実践)。省察の手法としてのKPT、More/Less。 ・介護職員の初期、中期、成熟期(初任者、中堅、リーダー、管理職)の各段階におけるキャリア課題の実際。 <p>○〔演習〕自身のキャリアアンカーを検討する。</p> <p>≪内容≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアアンカーのワークシート(自己診断シート)による自己のキャリアに対する価値観と能力を探る。気づきをグループでシェアし全体発表。 <p>○〔講義・演習〕学習のリフレクション(振り返り)</p> <p>≪内容≫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修全体を振り返り、リフレクションを行い講師がコメントを行う。 ・介護サービスの特性とマネジメント、リーダーシップとモチベーション、キャリアと経験学習等についてポイントのまとめ。 ・事後課題に向けた講義
	休憩	16:20~16:30	
	筆記試験	16:30~17:15	・確認としての試験。

(1時間は45分換算とする)